

世界道路交通犠牲者の日

(World Day of Remembrance for Road Traffic Victims)

知っていますか？
11月の第3日曜日は
「世界道路交通犠牲者の日」

1993年にイギリスのNGO（ロードピース）によって「道路交通犠牲者の日」が行われ、その後、ヨーロッパを中心に支持が広がり、2005年10月26日の第38回国連総会で毎年11月の第3日曜日を「世界道路交通犠牲者の日」とすることが決議されました。

■全国の交通犯罪遺族の方々へ

失われた大切な家族の命は、残念ながら何をしてきても戻ってきません。遺された私たちにできることは、同じ悲しみが繰り返されないようにすること。しかし、年間一万人もの命が失われる中で、声をあげることでできる方はごくわずかです。

もし、すべての遺族が「世界道路交通犠牲者の日」に一齐に事故現場に白い花を一輪供えれば、日本中の道路の各所が交通死ゼロを願う花であふれるのではないのでしょうか。「世界道路交通犠牲者の日」に備えて、花屋さんが白い花を仕入れるような日が来れば、「交通死ゼロ」が達成できると確信しています。

「世界道路交通犠牲者の日」の統一アイテムである黄色い風車も一緒に供えてあげてください。風車は「千の風」を受けて動きます。「世界道路交通犠牲者の日」を全国に広め、交通死ゼロへの「風」を全国的な運動に展開させる思いが込められています。（風車は<http://tav-net.com/world/world.htm>からどうぞ）



■全国のドライバーの方々へ

飲酒運転や暴走運転などの悪質な事故は論外ですが、死亡事件のほとんどは、脇見運転や前方不注意などが原因です。これらは「ちょっとした不注意」で済まされるものではありません。その結果、大切な命が失われるのです。交通事故ではなく、交通犯罪なのです。クルマは「走る凶器」です。あなたが安全運転を強く意識してハンドルを握ることは、加害者になってしまうことを防ぐだけでなく、あなたとあなたの大切な家族の命を守ることに直結するのです。

「世界道路交通犠牲者の日」は、道路交通被害者遺族のためにあるものではありません。幸いにも、まだ悲しみに見舞われていないあなたとあなたの家族の命を守るためにあるのです。



■全国の交通安全対策に携わるの方々へ

国、各地方自治体、各種民間組織などで交通安全対策に携わっておられる方々に、「世界道路交通犠牲者の日」に合わせて「慰霊祭」を開催していただくようお願いいたします。「世界道路交通犠牲者の日」は国連で決議された世界的な動きです。世界保健機関（WHO）が提唱し、多くの国々で様々なイベントが行われています。厳罰化や道路整備なども急務ですが、ハンドルを握るドライバーの心に訴え、啓発していくことは根本的な問題解決につながるものであり、その契機として「慰霊祭」は最適のものです。法改正のような複雑な準備も要らず、少ないコストで多くの命が救われるのです。



TAV 交通死被害者の会

事務局：大阪市北区西天満4丁目7-12 昭和ビル別館305号
TEL 06-6362-7225（土曜日 午後1時～3時）
<http://tav-net.com/> E-mail: tav@wai-y.com